



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東
 コード番号 4023 URL <https://www.kureha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 鶴谷 一成 (TEL) 03-3249-4651
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	105,685	0.2	14,551	△43.5	14,864	△42.5	11,830	△43.2	11,781	△43.1	16,323	△30.3
2020年3月期第3四半期	105,436	△4.9	25,768	85.4	25,868	82.2	20,810	86.6	20,720	86.5	23,422	128.7
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2021年3月期第3四半期	603.64				602.97							
2020年3月期第3四半期	1,041.10				1,040.26							

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	251,231	179,591	177,928	70.8
2020年3月期	246,890	166,623	164,990	66.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	85.00	—	85.00	170.00
2021年3月期	—	85.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	140,000	△1.7	16,500	△8.5	17,000	△5.3	13,300	△3.1	円 銭 681.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	20,805,407株	2020年3月期	20,805,407株
2021年3月期3Q	1,287,421株	2020年3月期	1,286,991株
2021年3月期3Q	19,518,193株	2020年3月期3Q	19,902,915株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(その他の収益)	12
(企業結合等関係)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国を含む世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として極めて厳しい状況でしたが、持ち直しの動きもみられました。今後、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染拡大は収束しておらず、先行きは不透明な状況です。

このような状況の中、当社グループは将来の発展に向けた土台を固める期間として、「中期経営計画Kureha's Challenge 2020」に取り組み、持続的な成長と企業価値向上を図っております。

当第3四半期連結累計期間では、自動車産業およびシェールオイル・ガス産業を主要な市場とする機能製品事業の販売に回復の兆しがみられ、また、新型コロナウイルス感染症による当社グループの生産・販売体制への影響は軽微であり、売上げは前年同期並みとなりました。営業利益では、原燃料価格の低減および新型コロナウイルス感染症に伴う活動経費の縮小により、セグメント営業利益合計は増益となりましたが、その他の収益において、前年同期に本社別館の土地売却益92億72百万円などの計上があったことにより前年同期比で減益となりました。売上収益は前年同期比0.2%増の1,056億85百万円、営業利益は前年同期比43.5%減の145億51百万円、税引前四半期利益は前年同期比42.5%減の148億64百万円、四半期利益は前年同期比43.2%減の118億30百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比43.1%減の117億81百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	売上収益			営業利益		
	前第3四半期	当第3四半期	増減	前第3四半期	当第3四半期	増減
機能製品事業	31,431	31,188	△243	3,258	1,909	△1,349
化学製品事業	17,341	17,597	255	1,471	1,897	425
樹脂製品事業	33,989	32,665	△1,324	5,700	6,517	816
建設関連事業	9,486	9,308	△178	608	694	85
その他関連事業	13,187	14,925	1,738	1,955	3,555	1,599
調整額(注)	—	—	—	12,773	△22	△12,795
連結合計	105,436	105,685	248	25,768	14,551	△11,216

(注) 営業利益の調整額には、報告セグメントに配分していないその他の収支が含まれております。詳細は、「(4)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載しております。

① 機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂およびシェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品は売上げが減少しましたが、リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂の売上げは増加したことから、この分野での売上げは増加しました。営業利益はPGA事業の損失増加および、持分法を適用している米国合弁事業の利益の減少などにより減少しました。

炭素製品分野では、自動車部品用摺動材および高温炉用断熱材向けの炭素繊維の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比0.8%減の311億88百万円となり、営業利益は前年同期比41.4%減の19億9百万円の営業利益となりました。

② 化学製品事業

医薬・農薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げは減少しましたが、農業・園芸用殺菌剤の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

工業薬品分野では、無機および有機薬品類の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比1.5%増の175億97百万円となり、営業利益は前年同期比28.9%増の18億97百万円となりました。

③ 樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

業務用食品包装材分野では、熱収縮多層フィルム等の売上げが減少し、前年度にブローボトル事業の譲渡を行ったこともあり、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比3.9%減の326億65百万円となり、営業利益は前年同期比14.3%増の65億17百万円となりました。

④ 建設関連事業

建設事業では、公共工事は増加したものの民間工事の中止や延期により、売上げが減少しましたが、営業利益は前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比1.9%減の93億8百万円となり、営業利益は前年同期比14.0%増の6億94百万円となりました。

⑤ その他関連事業

環境事業では、産業廃棄物処理および処分の増加により、売上げ、営業利益はともに増加しました。

運送事業では、売上げ、営業利益はともに前年同期並みとなりました。

病院事業では、売上げが減少し、営業損失は増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比13.2%増の149億25百万円となり、営業利益は前年同期比81.8%増の35億55百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当第3四半期末の資産合計につきましては、前期末比43億41百万円増の2,512億31百万円となりました。流動資産は、現金及び現金同等物の増加等により、前期末比30億66百万円増の820億78百万円となりました。非流動資産は、投資有価証券の売却に伴う減少はありましたが、有形固定資産が前期末比5億41百万円増の1,203億24百万円となり、その他の非流動資産での退職給付に係る資産の増加等により、前期末比12億74百万円増の1,691億53百万円となりました。

負債合計につきましては、前期末比86億26百万円減の716億40百万円となりました。これは、有利子負債が借入金等の返済等により前期末比55億86百万円減の317億30百万円となったこと等によりです。

資本合計につきましては、前期末比129億67百万円増の1,795億91百万円となりました。これは、剰余金の配当を33億18百万円実施した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益を117億81百万円計上するとともに、投資有価証券の評価額の増加等によりです。

なお、当第3四半期末で、当社グループの流動性確保および債権保全への新型コロナウイルス感染症による影響は発生しておりません。

(3) 今後の見通し

最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年11月10日に公表した数値を修正しております。

売上収益は、「機能製品事業」での主にリチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂等、及び「その他関連事業」での環境事業が増加する見込みであり、営業利益は、これらの売上収益の増加に加え、販売費及び一般管理費の減少などにより、前回予想を上回る見込みです。これに伴い、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益も、前回予想を上回る見込みです。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	138,000	14,500	14,500	11,500	589.19
今回修正予想(B)	140,000	16,500	17,000	13,300	681.42
増減額(B-A)	2,000	2,000	2,500	1,800	—
増減率(%)	1.4	13.8	17.2	15.7	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	142,398	18,041	17,944	13,719	692.61

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,268	11,779
営業債権及びその他の債権	28,327	29,908
その他の金融資産	2	1
棚卸資産	38,240	36,772
その他の流動資産	5,173	3,616
流動資産合計	79,011	82,078
非流動資産		
有形固定資産	119,782	120,324
無形資産	842	1,925
持分法で会計処理されている投資	13,120	13,625
その他の金融資産	24,574	20,810
繰延税金資産	2,599	3,062
その他の非流動資産	6,958	9,405
非流動資産合計	167,879	169,153
資産合計	246,890	251,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	19,424	18,959
社債及び借入金	15,549	9,932
その他の金融負債	1,582	2,324
未払法人所得税等	4,750	2,927
引当金	6,339	4,764
その他の流動負債	6,473	6,651
流動負債合計	54,121	45,561
非流動負債		
社債及び借入金	18,648	19,282
その他の金融負債	2,580	2,015
繰延税金負債	1,221	1,198
引当金	1,465	1,335
退職給付に係る負債	295	312
その他の非流動負債	1,932	1,934
非流動負債合計	26,144	26,078
負債合計	80,266	71,640
資本		
資本金	18,169	18,169
資本剰余金	15,044	15,044
自己株式	△8,693	△8,695
利益剰余金	135,918	151,835
その他の資本の構成要素	4,551	1,573
親会社の所有者に帰属する持分合計	164,990	177,928
非支配持分	1,633	1,663
資本合計	166,623	179,591
負債及び資本合計	246,890	251,231

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	105,436	105,685
売上原価	73,192	73,162
売上総利益	32,244	32,522
販売費及び一般管理費	20,718	18,869
持分法による投資利益	1,421	945
その他の収益	13,136	522
その他の費用	316	569
営業利益	25,768	14,551
金融収益	504	478
金融費用	403	165
税引前四半期利益	25,868	14,864
法人所得税費用	5,057	3,034
四半期利益	20,810	11,830
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	20,720	11,781
非支配持分	89	48
四半期利益	20,810	11,830
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	1,041.10	603.64
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	1,040.26	602.97

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	20,810	11,830
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	2,702	3,821
確定給付制度の再測定	626	1,529
合計	3,329	5,350
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△717	△857
合計	△717	△857
税引後その他の包括利益	2,611	4,492
四半期包括利益	23,422	16,323
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	23,310	16,236
非支配持分	111	86
四半期包括利益	23,422	16,323

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2019年4月1日残高	18,169	15,044	△3,689	122,363	63	△3,686
会計方針の変更による累積的影響額				△13		
会計方針の変更を反映した2019年4月1日残高	18,169	15,044	△3,689	122,349	63	△3,686
四半期利益				20,720		
その他の包括利益						△715
四半期包括利益合計	—	—	—	20,720	—	△715
自己株式の取得			△4,587			
株式報酬取引					12	
配当金				△3,608		
非支配持分との資本取引				0		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				3,467		
所有者との取引額合計	—	—	△4,587	△139	12	—
2019年12月31日残高	18,169	15,044	△8,276	142,930	75	△4,402
	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
2019年4月1日残高	12,286	—	8,664	160,551	1,616	162,167
会計方針の変更による累積的影響額			—	△13		△13
会計方針の変更を反映した2019年4月1日残高	12,286	—	8,664	160,537	1,616	162,153
四半期利益			—	20,720	89	20,810
その他の包括利益	2,678	626	2,589	2,589	22	2,611
四半期包括利益合計	2,678	626	2,589	23,310	111	23,422
自己株式の取得			—	△4,587		△4,587
株式報酬取引			12	12		12
配当金			—	△3,608	△54	△3,663
非支配持分との資本取引			—	0	△0	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△2,841	△626	△3,467	—		—
所有者との取引額合計	△2,841	△626	△3,455	△8,181	△55	△8,237
2019年12月31日残高	12,124	—	7,798	175,666	1,672	177,338

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2020年4月1日残高	18,169	15,044	△8,693	135,918	80	△4,858
四半期利益				11,781		
その他の包括利益						△851
四半期包括利益合計	—	—	—	11,781	—	△851
自己株式の取得			△2			
株式報酬取引					21	
配当金				△3,318		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				7,454		
所有者との取引額合計	—	—	△2	4,136	21	—
2020年12月31日残高	18,169	15,044	△8,695	151,835	102	△5,709

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計				
2020年4月1日残高	9,329	—	4,551	164,990	1,633	166,623	
四半期利益			—	11,781	48	11,830	
その他の包括利益	3,776	1,529	4,454	4,454	38	4,492	
四半期包括利益合計	3,776	1,529	4,454	16,236	86	16,323	
自己株式の取得			—	△2		△2	
株式報酬取引			21	21		21	
配当金			—	△3,318	△56	△3,374	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△5,924	△1,529	△7,454	—		—	
所有者との取引額合計	△5,924	△1,529	△7,432	△3,298	△56	△3,355	
2020年12月31日残高	7,180	—	1,573	177,928	1,663	179,591	

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能製品事業」「化学製品事業」「樹脂製品事業」「建設関連事業」「その他関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりです。

セグメント	主要製品等
機能製品事業	PPS樹脂、フッ化ビニリデン樹脂、PGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品 炭素繊維、球状活性炭
化学製品事業	農業・園芸用殺菌剤、慢性腎不全用剤、か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ モノクロルベンゼン、パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン
樹脂製品事業	家庭用ラップ、流し台用水切り袋、食品保存容器および調理シート、フッ化ビニリデン釣糸 塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、自動充填結紮機(食品包装用)
建設関連事業	土木・建築工事の施工請負業務、工事監理業務
その他関連事業	産業廃棄物の処理および環境関連処理設備、理化学分析・測定・試験および検査業務 運送および倉庫業務、医療サービス

(2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と同一であります。セグメント間の内部売上収益は、主に市場価格に基づいております。

当社グループのセグメント情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	31,431	17,341	33,989	9,486	13,187	105,436	—	105,436
セグメント間の 内部売上収益	458	166	143	4,439	4,794	10,001	△10,001	—
計	31,889	17,507	34,133	13,926	17,981	115,437	△10,001	105,436
営業利益	3,258	1,471	5,700	608	1,955	12,995	12,773	25,768
金融収益								504
金融費用(△)								△403
税引前四半期利益								25,868

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による損失△47百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益13,136百万円(固定資産売却益10,225百万円、割安購入益1,460百万円、事業譲渡益1,200百万円等)およびその他の費用△316百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	31,188	17,597	32,665	9,308	14,925	105,685	—	105,685
セグメント間の 内部売上収益	447	132	108	4,488	4,504	9,681	△9,681	—
計	31,636	17,729	32,774	13,797	19,429	115,366	△9,681	105,685
営業利益	1,909	1,897	6,517	694	3,555	14,573	△22	14,551
金融収益								478
金融費用(△)								△165
税引前四半期利益								14,864

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による利益25百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益522百万円およびその他の費用△569百万円が含まれております。

(その他の収益)

その他の収益の内訳は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
固定資産売却益(注)	10,225	—
割安購入益	1,460	—
事業譲渡益	1,200	—
その他	251	522
合計	13,136	522

(注) 固定資産売却益の内容については、主に本社別館の土地売却益9,272百万円に係るものであります。

(企業結合等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(取得による企業結合)

(1)企業結合の概要

当社の連結子会社である㈱クレハ環境は、2019年3月1日に締結した株式譲渡契約に基づき、2019年4月1日に以下のとおり、ひめゆり総業㈱の株式を取得しました。

①被取得企業の名称および事業の内容

名称 : ひめゆり総業㈱

主な事業内容 : 産業廃棄物の最終処分(管理型埋立)

②取得を行った主な理由

当社グループは、事業を通して、地球環境、エネルギー・資源、食糧、くらし、医療・健康などにおける社会的課題の解決に向けてひたむきに取り組んでおり、㈱クレハ環境では、産業廃棄物の収集運搬・中間処理を通して、地球環境の保全に努めております。今回、当社グループと創業当時から取引があり最終処分場を運営している、ひめゆり総業㈱を子会社化することにより、産業廃棄物の収集運搬から中間処理、最終処分までの一貫したサービスの提供が可能となり、より一層お客様や地域の皆様のニーズに応えられる体制となります。

③取得日

2019年4月1日

④取得した議決権比率

取得日直前に所有していた議決権比率 19%

取得日に追加取得した議決権比率 81%

取得後の議決権比率 100%

⑤移転された対価、取得資産および引受負債の公正価値、取得日直前に保有していた資本持分、割安購入益

項目	金額(百万円)
移転された対価(現金)	470
取得資産および引受負債の公正価値	
流動資産	2,164
有形固定資産	5,493
その他の非流動資産	797
非流動資産	6,290
流動負債	△451
長期借入金	△4,583
その他の非流動負債	△1,037
非流動負債	△5,621
取得資産および引受負債の公正価値(純額)	2,382
取得日直前に保有していた資本持分 ※1	452
割安購入益 ※2	1,460

※1 取得日直前に保有していた被取得企業の資本持分を取得日における公正価値で再測定した結果、段階取得に係る差益20百万円を要約四半期連結損益計算書の「その他の収益」に計上しています。

※2 割安購入益は、取得資産および引受負債の公正価値の純額が、移転された対価の公正価値を上回ったため発生しており、要約四半期連結損益計算書の「その他の収益」に計上しています。

⑥取得関連費用

取得関連費用は、影響が軽微なため記載を省略しております。

(2) 取得に伴うキャッシュ・フロー

取得により支出した現金及び現金同等物	475百万円
取得時に被取得会社が保有していた現金及び現金同等物	1,884百万円
子会社の取得による収入	1,409百万円

(3) 業績に与える影響

取得日以降に被取得企業から生じた売上収益及び四半期利益は、要約四半期連結損益計算書に与える影響が軽微のため記載を省略しております。

(会社分割による事業承継)

当社は、2019年7月24日に、当社が行うブローボトル事業を共同印刷株式会社(以下「共同印刷」といいます。)に、会社分割(簡易吸収分割)により承継させる(以下「本会社分割」といいます。)契約を締結し、2019年11月1日に承継しました。

(1) 本会社分割目的

当社は、ブローボトル事業を共同印刷に承継させることで、同社の生活・産業資材部門の製品群とのシナジーが発揮され、付加価値のある製品及びサービスを継続的に顧客に提供できると共に、当社と共同印刷相互の事業の発展に資すると考えています。

(2) 本会社分割の要旨

① 本会社分割日

2019年11月1日

② 本会社分割の方式

当社を分割会社とし、共同印刷を承継会社とする吸収分割です。なお、当社においては会社法第784条第2項に定める簡易吸収分割であることから、株主総会の承認手続きを経ずに行いました。

③ 本会社分割に係る割当の内容

当社は、本会社分割の対価として、共同印刷より現金1,677百万円を受領致しました。

(3) 分割した事業の内容

① 分割した事業の内容

ブローボトルの製造、販売

② 分割した事業の経営成績(自 2019年4月1日 至 2019年10月31日)

売上収益 1,101百万円

③ 分割した資産、負債の項目及び金額

棚卸資産 186百万円

有形固定資産 291百万円

資産合計 477百万円

(注) 負債は一切承継しておりません。

④ 会計処理

本会社分割の対価と分割した資産の差額である事業譲渡益1,200百万円を、要約四半期連結損益計算書の「その他の収益」に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。